

福祉・健康

●伊達福祉センターに設置されている白寿ヘルストロンの利用時間が1時間との告知があった。長時間利用している人は少人数と思う。2月の利用者人数と2時間以上の利用者数を教えてほしい。1時間と決めた理由を教えてほしい。

ヘルストロンの利用時間を1時間に設定しているのは、メーカーの説明によると20分の使用で効果が得られることなどを踏まえ、多くの市民に効果的かつ公平にご利用いただくためです。今年の2月における利用者数は、実人数で85名、延べ人数では623名となっております。なお、2時間以上の利用者数は把握しておりませんが、再度、1時間以内の利用の周知を図ってまいります。

今後も、より多くの市民に効果的かつ公平にヘルストロンをご利用いただくため、ご理解とご協力をお願いします。

●伊達市内には出産できるような病院がない。病院を建てるにも予算があり、すぐにはできないと思うが、現在ある病院に新しく産婦人科を設けることはできないか。

市内唯一の産科医療機関セントクリニックが令和2年3月に閉院となり、市といたしましても大変残念に思っております。少子化や医師不足等により、産科・産婦人科の医療機関設置は全国的にも厳しい状況にあり、現在、市内への産科・産婦人科医療機関の開業予定はありませんが、今年度より「伊達市産科・小児科診療所開設支援補助制度」を創設し、産科医療機関の誘致に努めています。また、市では、妊娠中の方に不安なく出産に臨めるよう伊達市ネウボラ保健師が妊娠、出産、育児まで切れ目のない支援を行っています。

今後も福島県、医師会などの関係機関と連携しながら地域医療の確保に努めてまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。